



感染症発生動向調査 週間コメント

【疾病別 推移グラフ】

2/12/19

第01週 (H28.1.4~H28.1.10)

■ 今週のトピックス

◎ 平成28年第1週分の週報です。旧年中と同様に皆様今年もご協力よろしくお願いいたします。

本年も3月26日(土曜日)に県医師会館で研修会を開催します。WHO西太平洋事務局地域事業局統括部部長の葛西健先生にグローバル感染症等をテーマにご講演をいただく予定です。詳細につきましては、後日あらためてご連絡いたしますので多数のご参加をお願いいたします。

▽ 今週(2016年第1週:1/4-1/10)は前週に年末年始を含むためほとんどの疾患が増加しています。インフルエンザは連続増加中で急患センターからの報告も多く、今期初めて定点当たり1.0以上(1.79)となりました。RSウイルス感染症も多発が続きます。感染性胃腸炎ではノロも口タもありますがノロウイルスの報告が多い。

病 名	報告数	前週比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全国
インフルエンザ	355	215%	福岡203、北九州106	1.79	0.89
RSウイルス感染症	181	130%	福岡75、北九州62	1.51	1.03
咽頭結膜熱	101	184%	福岡62、北九州20	0.84	0.33
A群溶連菌咽頭炎	361	172%	福岡225、北九州64	3.01	1.29
感染性胃腸炎	984	170%	福岡387、北九州336	8.20	4.49
水 痘	156	115%	福岡90、北九州36	1.30	0.47
手足口病	3	-1	福岡3	0.03	0.04
伝染性紅斑	95	413%	福岡37、北九州34	0.79	0.32
突発性発しん	92	219%	福岡47、北九州18	0.77	0.21
百日咳	2	+1	福岡2	0.02	0.01
風しん	0	±0		0.00	
ヘルパンギーナ	2	-1	福岡2	0.02	0.01
麻疹	0	±0		0.00	
流行性耳下腺炎	295	201%	福岡128、筑後81	2.46	0.56
川崎病(MCLS)	11	+3	福岡6、筑豊3	0.09	
マイコプラズマ肺炎	79	136%	福岡41、北九州18	0.66	0.43
クラミジア肺炎	0	-2		0.00	0.01
細菌性髄膜炎	0	±0		0.00	0.02
無菌性髄膜炎	3	+3	北九州3	0.03	0.02
急性脳炎	1	+1	福岡1	0.01	
急性出血性結膜炎	2	+2	北九州1、福岡1	0.08	0.01
流行性角結膜炎	70	219%	福岡32、筑豊19	2.69	0.39
性器クラミジア感染症	21	+13	福岡11、北九州6	0.57	
性器ヘルペス	7	+2	筑後3、福岡3	0.19	
尖圭コンジローマ	4	+4	福岡3、北九州1	0.11	
淋菌感染症	13	+9	福岡10、北九州3	0.35	
梅 毒	0	±0		0.00	

全国情報は平成27年53週分です。全国情報ではマイコプラズマ肺炎205、クラミジア肺炎5例。

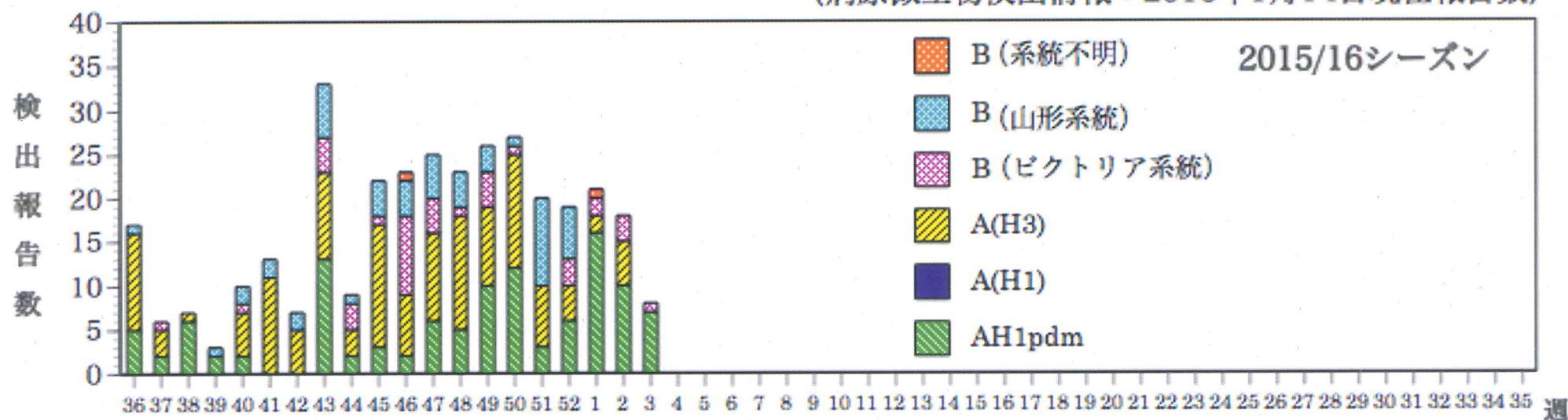
平成27年第53週までの累計は、急性灰白髄炎0、結核23880(県内1057)、コレラ7、細菌性赤痢156(県内5)、腸管出血性大腸菌感染症3561(今週6、県内今週0、計210)、腸チフス36(県内0)、パラチフス31、E型肝炎212、A型肝炎242(今週2、県内7)、オウム病5、SFTS60(県内7)、チクングニア熱17、つつが虫病415、デング熱292(県内11)、日本紅斑熱212、日本脳炎2(県内0)、マラリア41(県内1)、レジオネラ症1587、アメーバ赤痢1095、ウイルス性肝炎251(県内12)、急性脳炎497(県内27)、クロイツフェルト・ヤコブ病185、劇症型溶レン菌感染症431(県内13)、後天性免疫不全症候群1413(県内57)、侵襲性インフルエンザ菌感染症247(県内11)、侵襲性髄膜炎菌感染症33、侵襲性肺炎球菌感染症2355(県内112)、水痘(入院)307(県内28)、先天性風しん症候群0、梅毒2660(県内71)、風しん162(今週0、県内9)、麻疹35(今週0、県内1)例。1類感染症の報告はない。

過去10シーズンのインフルエンザの定点当たり報告数が基準値をこえた週・基準値を下回る前の週

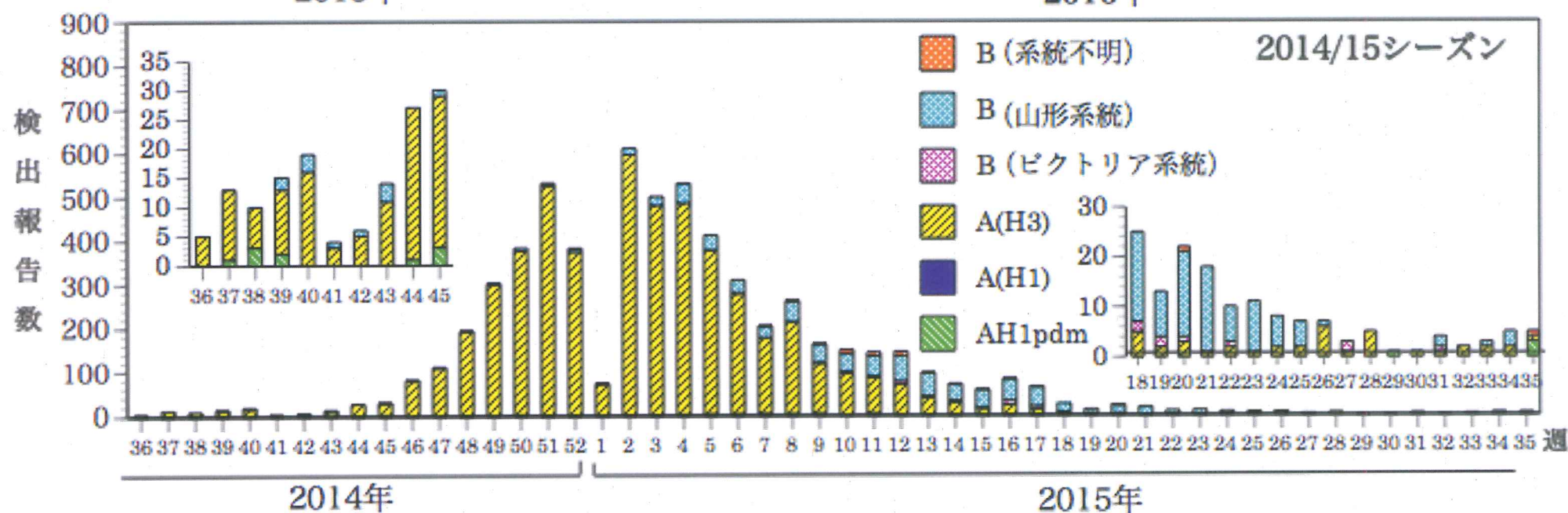
福岡	2006-2007	2007-2008	2008-2009	2009-2010	2010-2011	2011-2012	2012-2013	2013-2014	2014-2015	2015-2016
流行開始(1.0)	3	51	50	33	50	52	50	51	49	1
注意報(10.0)	6	4	2	40	1	3	2	3	51	
警報(30.0)	8		4	42	3	4	3	4	52	
最大値(週)	60.03(11)	20.35(8)	44.28(4)	63.62(48)	48.97(3)	48.03(6)	45.84(4)	45.57(5)	60.72(4)	
30	12		6	50	11	8	5	10	5	
10	14	11	12	53	15	13	10	13	7	
1	18	16	19	8	20	19	22	18	18	
全国	2006-2007	2007-2008	2008-2009	2009-2010	2010-2011	2011-2012	2012-2013	2013-2014	2014-2015	2015-2016
流行開始(1.0)	3	47	49	33	50	49	50	51	48	1
注意報(10.0)	7	4	2	41	2	3	2	3	51	
警報(30.0)	11		4	44	4	4	4	5	2	
最大値(週)	32.95(11)	17.7(5)	37.48(4)	39.66(48)	31.88(4)	42.62(5)	36.44(4)	34.44(5)	39.42(4)	

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2014/15～2015/16シーズン

(病原微生物検出情報：2016年1月14日現在報告数)



3



高齢者を対象にした 肺炎球菌ワクチンの 接種費用の一部を公費で負担する 定期接種を開始!



定期接種の対象者は毎年異なるため、接種の機会を逃さないようにご注意ください

平成27年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)は①もしくは②の方が定期接種の対象です。

対象者①(生年月日)

65歳となる方	昭和25年4月2日生～昭和26年4月1日生
70歳となる方	昭和20年4月2日生～昭和21年4月1日生
75歳となる方	昭和15年4月2日生～昭和16年4月1日生
80歳となる方	昭和10年4月2日生～昭和11年4月1日生
85歳となる方	昭和5年4月2日生～昭和6年4月1日生
90歳となる方	大正14年4月2日生～大正15年4月1日生
95歳となる方	大正9年4月2日生～大正10年4月1日生
100歳となる方	大正4年4月2日生～大正5年4月1日生

対象者②

60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方

肺炎球菌ワクチンとは

肺炎球菌には90種類以上の血清型があり、定期接種で使用される「23価肺炎球菌ワクチン(一般名:23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン、商品名:ニューモバックス NP)」は、そのうちの23種類の血清型を予防の対象としたワクチンです。この23種類の血清型は、平成25年には成人における侵襲性肺炎球菌感染症の原因の約6割を占めるという研究結果があります。

※侵襲性感染とは本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことをいいます。

過去に「23価肺炎球菌ワクチン」を接種したことがある方

「23価肺炎球菌ワクチン」を接種したことがある方は定期接種の対象とはなりません。また、新たに承認された「13価肺炎球菌ワクチン(一般名:沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン、商品名:プレベナー 13)」は、平成27年4月1日時点では定期接種に使用できません。ただし「13価肺炎球菌ワクチン」を接種したことがある場合でも「23価肺炎球菌ワクチン」を定期接種することができます。

肺炎球菌ワクチンの接種後には副反応が生じることがあります

肺炎球菌ワクチンの接種後にみられる主な副反応には、接種部位の症状(痛み、赤み、腫れなど)、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などがあります。接種後に気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師にご相談ください。

予防接種健康被害救済制度について

定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要な場合や生活が不自由になった場合(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。制度の利用を申しこむときは、お住まいの市町村にご相談ください(制度を利用するためには、一定の条件があります)。

※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。

表7-2(40) 2014年度 第2期 福岡県麻疹風しんワクチン接種率全国集計結果
2015年3月31日現在、最終評価

順位は麻疹ワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2014年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2014年度における接種者の数

MRワクチン：麻疹風しん混合ワクチン

2014年度 第2期

2014年4月1日～2015年3月31日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

第2期

順位	市町村 (特別区) 名	麻疹風しん ワクチン接種 対象者数 (人) : ①	MRワクチン 接種者数 (人) : ②	麻疹単抗原 ワクチン接種者 数(人) : ③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人) : ④	麻疹ワクチン 接種率(%) : ⑤ = (② + ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) : ⑥ = (② + ④) / ① × 100
	合計	46,388	43,698	5	0	94.2	94.2
1	東峰村	16	16	0	0	100.0	100.0
2	朝倉市	442	433	0	0	98.0	98.0
3	新宮町	449	437	0	0	97.3	97.3
	広川町	183	178	0	0	97.3	97.3
5	古賀市	567	550	1	0	97.2	97.0
6	福津市	551	535	0	0	97.1	97.1
7	大野城市	1,120	1,086	0	0	97.0	97.0
8	芦屋町	128	124	0	0	96.9	96.9
	筑後市	489	474	0	0	96.9	96.9
10	吉富町	62	60	0	0	96.8	96.8
11	田川市	451	436	0	0	96.7	96.7
12	篠栗町	353	341	0	0	96.6	96.6
13	福岡市	13,062	12,589	4	0	96.4	96.4
14	筑前町	271	261	0	0	96.3	96.3
15	志免町	573	551	0	0	96.2	96.2
16	宗像市	895	859	0	0	96.0	96.0
17	太宰府市	696	666	0	0	95.7	95.7
	添田町	69	66	0	0	95.7	95.7
19	春日市	1,234	1,177	0	0	95.4	95.4
	久留米市	2,868	2,731	0	0	95.2	95.2
20	岡垣町	271	258	0	0	95.2	95.2
	福智町	210	200	0	0	95.2	95.2
23	筑紫野市	1,015	965	0	0	95.1	95.1
	豊前市	205	195	0	0	95.1	95.1
	苅田町	365	347	0	0	95.1	95.1
26	うきは市	295	280	0	0	94.9	94.9
	八女市	526	499	0	0	94.9	94.9
28	小郡市	535	506	0	0	94.6	94.6
29	上毛町	71	67	0	0	94.4	94.4
30	粕屋町	596	560	0	0	94.0	94.0
31	北九州市	8,466	7,952	0	0	93.9	93.9
32	鞍手町	129	121	0	0	93.8	93.8
33	須恵町	295	275	0	0	93.2	93.2
	みやこ町	146	136	0	0	93.2	93.2
35	大木町	160	148	0	0	92.5	92.5
36	大任町	39	36	0	0	92.3	92.3
37	大牟田市	897	827	0	0	92.2	92.2

順位	市町村 (特別区) 名	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人):①	MRワクチン 接種者数 (人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+ ③)/①×100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+ ④)/①×100
37	久山町	90	83	0	0	92.2	92.2
39	行橋市	680	626	0	0	92.1	92.1
40	遠賀町	176	162	0	0	92.0	92.0
41	大刀洗町	135	124	0	0	91.9	91.9
42	嘉麻市	336	308	0	0	91.7	91.7
43	中間市	355	324	0	0	91.3	91.3
44	柳川市	580	529	0	0	91.2	91.2
45	直方市	531	483	0	0	91.0	91.0
46	桂川町	120	108	0	0	90.0	90.0
47	宮若市	252	226	0	0	89.7	89.7
48	宇美町	391	349	0	0	89.3	89.3
49	大川市	254	226	0	0	89.0	89.0
50	糸島市	946	837	0	0	88.5	88.5
51	築上町	167	145	0	0	86.8	86.8
52	小竹町	51	44	0	0	86.3	86.3
53	那珂川町	635	547	0	0	86.1	86.1
54	水巻町	222	185	0	0	83.3	83.3
	赤村	18	15	0	0	83.3	83.3
56	みやま市	310	258	0	0	83.2	83.2
57	糸田町	71	59	0	0	83.1	83.1
58	飯塚市	1,133	933	0	0	82.3	82.3
59	川崎町	148	118	0	0	79.7	79.7
60	香春町	87	67	0	0	77.0	77.0

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター

MRワクチン2期の接種率が90%未満の自治体

		2014年度		2013年度	2012年度	2011年度
		対象者数	接種者数	接種率	接種率	接種率
参考	全国	1,093,665	1,020,036	93.3	93.0	92.8
	福岡県	46,388	43,698	94.2	94.5	94.7
	福岡市	13,062	12,589	96.4	97.3	98.2
	北九州市	8,446	7,952	93.9	95.0	94.8
	香春町	87	67	77.0	97.2	88.3
	川崎町	148	118	79.7	91.9	86.5
	飯塚市	1133	933	82.3	86.9	92.5
	糸田町	71	59	83.1	81.0	88.2
	みやま市	310	258	83.2	91.1	96.0
	赤村	18	15	83.3	92.3	93.9
	水巻町	222	185	83.3	73.2	78.5
	那珂川町	635	547	86.1	86.5	90.1
	小竹町	51	44	86.3	86.0	92.0
	築上町	167	145	86.8	85.0	91.1
	糸島市	946	837	88.5	91.4	93.1
	大川市	254	226	89.0	89.9	93.4
	宇美町	391	349	89.3	93.7	92.3
	宮若市	252	226	89.7	91.5	90.3
	桂川町	120	108	90.0	84.9	88.3
	筑紫野市	1015	965	95.1	87.9	93.4
	大刀洗町	135	124	91.9	89.1	91.5
	大任町	39	36	92.3	89.2	83.7
	福智町	210	200	95.2	89.9	94.8
	東峰村	16	16	100.0	95.0	87.5
	嘉麻市	336	308	91.7	93.9	89.4
	田川市	451	436	96.7	95.3	91.6
	中間市	355	324	91.3	91.0	92.9
	古賀市	567	550	97.2	105.1	91.9
	大牟田市	897	827	92.2	92.1	102.5
90%未満の自治体数				14	12	8
						14

接種対象者数: 当該年度4月1日現在のMRワクチン2期対象者の数

青字: 90%以上、95%未満

赤字: 90%未満

表7-1(40) 2014年度 第1期 福岡県麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果
2015年3月31日現在、最終評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2014年10月1日現在の第1期対象者の数、②、③、④は2014年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2014年度 第1期

2014年4月1日～2015年3月31日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

第1期

順位	市町村 (特別区) 名	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人) : ①	MRワクチン 接種者数 (人) : ②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人) : ③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人) : ④	麻しんワクチン 接種率(%) : ⑤ = (② + ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) : ⑥ = (② + ④) / ① × 100
	合計	46,001	45,039	1	2	97.9	97.9
1	みやこ町	114	124	0	0	108.8	108.8
2	志免町	503	544	0	0	108.2	108.2
3	宗像市	839	891	0	0	106.2	106.2
4	粕屋町	687	712	0	0	103.6	103.6
5	うきは市	237	245	0	0	103.4	103.4
6	鞍手町	96	99	0	0	103.1	103.1
7	朝倉市	437	448	0	0	102.5	102.5
8	小都市	445	454	0	0	102.0	102.0
9	遠賀町	164	167	0	0	101.8	101.8
10	大川市	206	209	0	0	101.5	101.5
11	中間市	278	282	0	0	101.4	101.4
12	大木町	132	133	0	0	100.8	100.8
13	広川町	164	165	0	0	100.6	100.6
14	東峰村	14	14	0	0	100.0	100.0
15	福岡市	14,424	14,352	0	1	99.5	99.5
16	行橋市	665	661	0	0	99.4	99.4
17	田川市	382	377	0	0	98.7	98.7
18	糸島市	723	713	0	0	98.6	98.6
19	北九州市	8,104	7,971	0	1	98.4	98.4
20	久留米市	2,938	2,884	0	0	98.2	98.2
	水巻町	228	224	0	0	98.2	98.2
22	筑前町	267	262	0	0	98.1	98.1
23	新宮町	423	412	0	0	97.4	97.4
24	直方市	485	472	0	0	97.3	97.3
25	太宰府市	756	734	0	0	97.1	97.1
26	筑紫野市	961	930	0	0	96.8	96.8
	福智町	189	183	0	0	96.8	96.8
28	古賀市	550	530	0	0	96.4	96.4
29	春日市	1,076	1,030	0	0	95.7	95.7
30	みやま市	224	214	0	0	95.5	95.5
31	福津市	575	548	0	0	95.3	95.3
	柳川市	516	492	0	0	95.3	95.3
33	赤村	21	20	0	0	95.2	95.2
34	宮若市	234	222	0	0	94.9	94.9
35	大牟田市	890	844	0	0	94.8	94.8
36	芦屋町	113	107	0	0	94.7	94.7
37	飯塚市	1,137	1,076	0	0	94.6	94.6

順位	市町村 (特別区) 名	第1期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人):①	MRワクチン 接種者数 (人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+ ③)/①×100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+ ④)/①×100
38	大野城市	1,090	1,028	0	0	94.3	94.3
39	嘉麻市	288	271	0	0	94.1	94.1
40	上毛町	67	63	0	0	94.0	94.0
41	宇美町	359	336	0	0	93.6	93.6
	筑後市	513	480	0	0	93.6	93.6
43	篠栗町	304	284	0	0	93.4	93.4
44	須恵町	319	297	0	0	93.1	93.1
45	川崎町	143	132	0	0	92.3	92.3
46	八女市	466	428	1	0	92.1	91.8
47	苅田町	363	334	0	0	92.0	92.0
48	大任町	37	34	0	0	91.9	91.9
49	那珂川町	590	539	0	0	91.4	91.4
50	小竹町	44	40	0	0	90.9	90.9
51	築上町	148	134	0	0	90.5	90.5
52	豊前市	215	193	0	0	89.8	89.8
53	岡垣町	263	235	0	0	89.4	89.4
54	久山町	54	48	0	0	88.9	88.9
55	大刀洗町	123	107	0	0	87.0	87.0
56	吉富町	66	57	0	0	86.4	86.4
57	糸田町	82	69	0	0	84.1	84.1
58	香春町	87	72	0	0	82.8	82.8
59	桂川町	128	80	0	0	62.5	62.5
60	添田町	55	33	0	0	60.0	60.0

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター

MRワクチン1期の接種率が90%未満の自治体

		2014年度			2013年度	2012年度	2011年度
		対象者数	接種者数	接種率	接種率	接種率	接種率
参考	全国	1,047,926	1,010,193	96.4	95.5	97.5	95.3
	福岡県	46,001	45,039	97.9	96.6	98.5	96.0
	福岡市	14,424	14,352	99.5	97.3	99.7	98.2
	北九州市	8,104	7,971	98.4	98.6	103.4	97.2
2014年度	添田町	55	33	60.0	89.1	83.1	64.4
	桂川町	128	80	62.5	112.8	59.3	106.9
	香春町	87	72	82.8	76.5	81.8	92.5
	糸田町	82	69	84.1	66.7	78.2	83.5
	吉富町	66	57	86.4	95.3	97.5	95.5
	大刀洗町	123	107	87.0	90.9	98.6	92.7
	久山町	54	48	88.9	92.4	112.3	98.8
	岡垣町	263	235	89.4	98.3	90.9	100.0
	豊前市	215	193	89.8	91.9	76.9	87.9
2013年度	築上町	148	134	90.5	69.8	105.7	93.2
	みやま市	224	214	95.5	74.2	89.8	82.7
	嘉麻市	288	271	94.1	76.5	96.6	83.5
	宮若市	234	222	94.9	82.7	99.6	91.1
	水巻町	228	224	98.2	88.0	100.8	96.0
	鞍手町	96	99	103.1	88.0	104.5	101.7
	小郡市	445	454	102.0	89.2	90.9	92.6
	筑前町	267	262	98.1	89.6	98.8	97.3
	大川市	206	209	101.5	89.6	80.3	72.5
	福智町	189	183	96.8	89.9	94.1	84.3
2012年度	みやこ町	114	124	108.8	89.9	87.9	101.7
	筑紫野市	961	930	96.8	91.9	86.0	89.3
	東峰村	14	14	100.0	94.1	87.5	46.7
	遠賀町	164	167	101.8	100.7	88.9	93.0
	川崎町	143	132	92.3	100.0	89.5	89.5
2011年度	上毛町	67	63	94.0	91.0	95.0	81.3
	宇美町	359	336	93.6	90.7	99.4	83.6
	大木町	132	133	100.8	98.0	93.7	85.4
	太宰府市	890	734	97.1	90.5	109.7	88.3
	糸島市	723	713	98.6	90.0	95.9	88.6
	田川市	382	377	98.7	97.2	93.4	88.8
	中間市	287	282	101.4	92.1	105.0	89.0
90%未満の自治体数				9	14	12	17

接種対象者数：当該年度10月1日現在のMRワクチン1期対象者の数

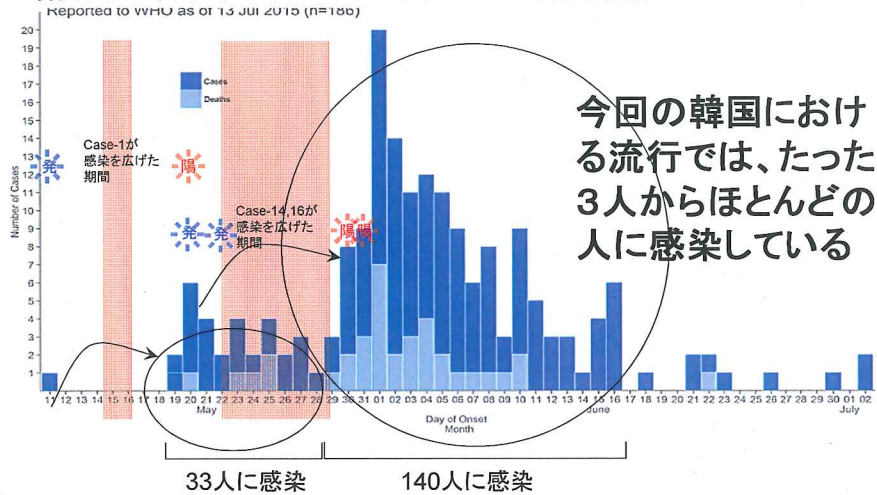
青字：90%以上、95%未満

赤字：90%未満

韓国におけるMERSの流行

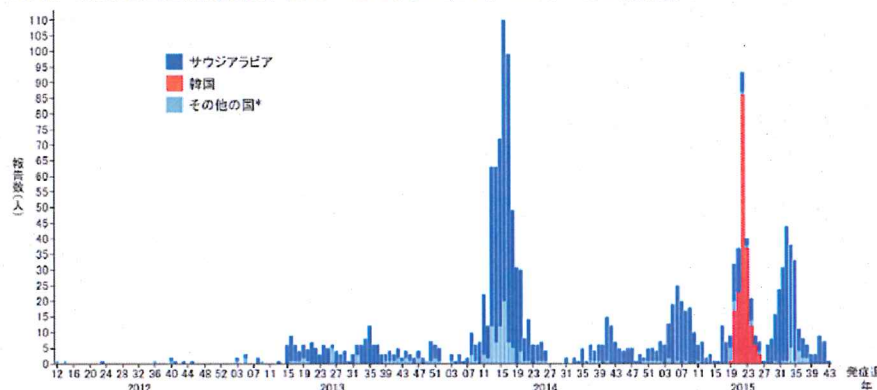
サウジアラビアから日本への渡航者50人/日に対して韓国から日本への渡航者は14,000人/日あり、韓国でのMERS流行時には日本でも危機意識が高まった

韓国および中国におけるMERSコロナウイルスの確定患者数



※このスライドは、2015年11月6日に開催された第3回日本医師会・獣医師会による連携シンポジウム「越境性感染症の現状と課題」での国立感染症研究所第三部四室室長松山州徳先生ご発表のスライドを元に作成しました

図. 国・地域別MERS症例報告数, 2012~2015年(n=1,618, 2015年11月13日現在)

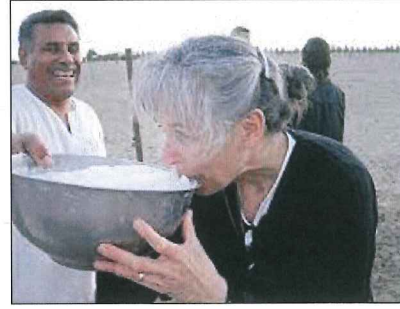


*その他の国(アルファベット順): アルジェリア、オーストリア、中国、エジプト、フランス、ドイツ、ギリシャ、イラン、イタリア、ヨルダン、クウェート、レバノン、マレーシア、オランダ、オマーン、フィリピン、カタール、タイ、チュニジア、トルコ、アラブ首長国連邦、英国、米国、イエメン

出典: WHO, Epicurve of confirmed global cases of MERS-CoV in Republic of Korea, China, Saudi Arabia and other countries.
<http://www.who.int/emergencies/mers-cov/en/>

IASR

ラクダからヒトへの感染



- 分泌物、未殺菌の乳や生肉などから感染。

※このスライドは、2015年11月6日に開催された第3回日本医師会・獣医師会による連携シンポジウム「越境性感染症の現状と課題」での国立感染症研究所第三部四室室長松山州徳先生ご発表のスライドを元に作成しました

日本の対応

- ◆ アラビア半島地域でのMERSの発生は続いており、アブダビ・ドバイ(アラブ首長国連邦)、リヤド(サウジアラビア)など旅行時のMERS感染のリスクは変わっていない
- ◆ 検疫所では現在も中東のMERS発症地域(アラビア半島またはその周辺諸国)への旅行者、同地域からの入国者について、ラクダとの接触歴、MERS患者との接触の有無、医療機関訪問の有無を確認し必要と判断された場合は健康監視を行なっている

中東呼吸器症候群(MERS)

2015.9

《注意》 MERSが発生している中東諸国で、患者やラクダと接触した方は、感染の可能性があるため、検疫所が最大14日間の健康監視(※)を行う場合があります。

※健康監視とは、検疫所に毎日体温等の健康状態を報告することです。

【症状】

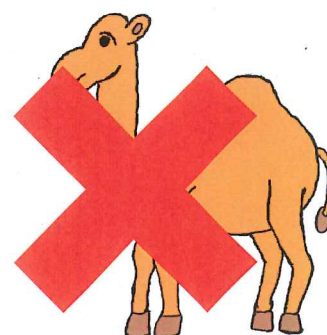
感染してから2～14日後に、呼吸器症状(発熱、咳、息切れや呼吸困難など)を引き起こします。感染しても症状が出ない場合もあります。

【治療】

特別な治療方法やワクチンはありません。

【予防対策】

- ・一般的な衛生対策として手洗いを行う。
- ・咳やくしゃみなどの症状を示している人との接触はできる限り避ける。



ラクダなど、動物との接触を避けましょう!!



【発生が報告されている中東諸国】

国立感染症研究所ホームページ

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

検疫所ホームページ FORTH

<http://www.forth.go.jp>

【入国時に検疫所で】

発熱や咳などの呼吸器症状がある方や、MERSが疑われる患者又はラクダと接触した可能性がある方は、必ず、検疫官にお申し出ください。

【入国後症状が出たら】

入国後14日以内に、発熱や咳などの呼吸器症状がみられた方は、速やかに電話にて最寄りの保健所にご連絡ください。



FORTH

厚生労働省 福岡検疫所